

## 会議概要

### ●開催概要

名称	第1回 関屋小学校区コミュニティ協議会 新バスシステム説明会
日時	平成25年5月18日 午前10時から午前11時30分
場所	関屋コミュニティハウス 多目的ホール
出席	新潟市都市政策部新交通推進課, 都市交通政策課 新潟交通株式会社
参加者	21名

### ●会議内容

- (1) 新バスシステムについて（新潟市説明）
- (2) 提案内容について（新潟交通株式会社説明）
- (3) 質疑・応答 ★発言者 ○新潟市発言 ●新潟交通株式会社発言

#### ★発言者1（男性）

- ・バス停はどこになるか。バスの長さはどうなるか。電車通りの今のバス停では、バスを追い越す時に事故が起きやすい。かえって事故が起きやすい環境になるのでは。

#### ●新潟交通株式会社

- ・これからの検討だが、今のバス停の位置を基本としている。基本的には300m間隔の設置を考えている。具体的な検討結果は今後お知らせしたい。

#### ○新潟市

- ・連節バスの長さは18m、一般のバスは12m。6mの差だが、電車通りではバス停で停車しているバスの後ろで車が待っているという状況もあるかもしれないが、公共交通を優先したいという思いを持っている。交通安全確保は警察と協議しているが、できるだけ公共交通を優先して頂くことをご理解いただきたい。今後も警察と調整して、どんな形にするかは説明させて頂く。

#### ★発言者2（女性）

- ・問題は料金だと思う。郊外からバスでまちなかに来る方はかなりの料金を払う。他県では、高齢者は料金が100円とか、そういうシステムがあるが、新潟市ではどうなるか、気になる。

#### ○新潟市

- ・高齢者の方の移動をしやすく、まちなかにきてもらうため、色々な実験をやっている。現在、400人のモニターを対象に、2500円出すと、一定期間バスが半額で乗れる社会実験をやっているところ。こういった実験をやりながら、利用者にアンケートを頂いて、使いやすくなったとか、まちなかにでる機会が増えたとか、把握して施策として展開していきたい。

#### ★発言者3（男性）

- ・地元の町内会からは、新潟交通に不満は出ていない。本数も多い。ただ、運転手

の横暴な運転に困っている。BRTでも急発進、急ブレーキ、コーナーを高速で曲がったりするのは困る。

- ・また、以前、町田でBRTに乗った方から、朝は荷捌きのトラックが邪魔して時間通りに動かないと聞いたので、その点も検討してほしい。

#### ●新潟交通株式会社

- ・乗務員の運転の仕方について、市民から苦情を頂くこともある。我々は接客に力を入れており、バス車内のドライブレコーダーを検証し、運転手に指導をしている。急には良くなれないかもしれないが、着実に接客マナーを上げていくので、今後もよろしくをお願いしたい。
- ・連節バスの運転手だが、新たに採用するのではなく、今の運転手の中から間違いない者を選抜する形としたい。

#### ○新潟市

- ・平成26年度の段階では既存のバスレーン、交通規制で取り組むが、バス優先レーンについては厳格に運用されることが大事と考えており、県警さんとの連携をしっかりと、確保に努めたい。
- ・将来的には、都心軸上での専用走行路設置を目指し、さらに走行性を高めたい。

#### ★発言者4（男性）

- ・交通体系を導入するにあたっての前提として、市はまちづくりをどう考えるか、いまひとつはっきりしない。少子高齢化の社会となり、学校町あたりも人が少なくなった。古町も寂しくなった。今後どういう方向性でまちづくりし、その中でどうBRTを走らせていくのか。
- ・公設民営方式では、採算はどう合ってくるのか。岐阜市の事例を参考にしているかもしれないが、岐阜市はうまくいっているか。それを新潟市に持ってきてどうなるか。
- ・BRT導入で、バスの数が量的に増えることになるのは分かるが、新潟交通がそれによって採算が合うのか、気になる。市としても、そこに補助をどうしていくのか、わからない。
- ・昔の電車通りを走るが、一番バスの多い西大通りとの関係性はどうなるのか。青山まで通じるとのことだが、最近は浜浦町線の本数が減っており、他の路線を使ったりするが、そういったこととの絡みはどうなるのか。
- ・情報案内はどうなるか。次のバスが出るとか、既存のバス路線でもできることと思うが、そのあたりとの関わりはどうなるか。
- ・外国製のバスを導入する話で、日本に作っている会社はないとのことだが、国産のものであればいいと思う。

#### ○新潟市

- ・まちづくりのマスタープランでは、旧合併市町村のそれぞれに地域拠点があり、旧新潟市の都心があり、その中で古町があり、それらが連携して高め合う、多核連携型のまちづくりを目指している。その拠点間の移動を快適にし、結びつけることが交通の役割。交通だけをよくすればいいのではなく、それぞれの拠点を高

めることと併せて展開する必要がある。

- ・公設民営方式による収支について、平成22年度の新たな交通システム導入検討委員会で試算を行っており、収支は成立している。まちなかの余力を郊外に振りわけるので、収支の心配はないと思うが、まちなかのBRTだけ黒字になればいいということではなく、全体として持続して成立していくことが必要。ただ、収支については具体的な運行計画が定まってきたら、その際はまた説明したい。
- ・赤字の場合はどうなるかだが、市が整備したものを、新潟交通に貸与して運行してもらう形なので、仮に赤字になっても補填は考えていない。

#### ●新潟交通株式会社

- ・電車通りの路線、西大通りの路線については、同じ幹線というグレードであり、西小針線と有明線が新潟高校前を運行しているが、それと同じサービスレベルのものを電車通りに持っていく。
- ・浜浦町線は減便してきており、今は朝と夕方のラッシュは8～10分間隔で運行しているが、それを3～5分の間隔に戻す方向で進めている。

#### ○新潟市

- ・情報案内については、今でももうじきバスが来ると示されているが、今後、車内で、どこにどれくらいで着く、目的地からこういう路線に接続する、渋滞している時には、こういう理由で渋滞しているというようなことを情報提供するなど、総合的に情報案内し、公共交通の利用環境を良くしたい。
- ・連節バスは、現段階では、国内メーカーでは作る場所は無く、作る予定も無いと聞いている。
- ・ただ、国内のBRT需要は高くなっており、BRT導入後、サービスレベルを上げ、バス台数を増していく時に、国内のメーカーは有力と思う。他都市でも、銀座や相模原等で連節バスの導入検討がなされており、需要が出た場合、メーカーも製造に乗り気になろうかと思うので、国内車両の導入も有力になる。

#### ★発言者5（男性）

- ・新潟交通を再生させるという視点から市が協力しているのはよくわかるが、住民の立場にたって公共交通サービスを上げてほしい。今は古町が衰退し、マイカーの利用が大きくなり、他都市をみても対応策はない。公共交通を整備しても、買うものが無ければまちなかへ行かない。
- ・公共交通はラッシュアワーの対応が一番大変だが、そこに新潟交通が対応するのは大変。ラッシュアワー以外の時間は郊外に車両をきりまわすとよいのでは。
- ・中心部の駐車場無料化は検討した経緯はあるか。まちなかで無料になれば、まちなかへマイカー利用者は行く。まちなかが有料だから皆、郊外のショッピングセンターに行く。
- ・他の80万都市で交通サービスを提供する会社は1社のところはあるのか。県内他市の事業者も新潟に参入すれば、より競争原理が働きサービスがよくなるのでは。
- ・連節バス車両については新潟の会社で現に作っている。それを調べたのか。

- ・今すぐ回答を求めるものではないが、感想として述べる。

○新潟市

- ・おっしゃった新潟の会社は、LRTは作っているが、BRTは作っていない。
- ・まちなか自体もしっかりと取り組まなければならない。公共交通とまちなかでの取り組みと両輪で行う必要がある。自家用車をどう考えるか、という部分だが、公共交通だけを充実させて、マイカーを排除したいとは考えていない。マイカーへの過度な依存が問題と捉えており、高齢者が多くなりマイカーを運転できない方が増える中、できるだけ公共交通の環境を良くして、公共交通でしか移動できない方の足を確保していきたいという考え方で進めている。
- ・頂いた様々なご意見は参考とさせて頂いて、今後の資料に活かしていきたい。

★発言者2（女性）

- ・郊外からバスでまちなかへ来る方が、バスのステップが高すぎて、乗り降りに苦労しているのをよく見る。説明の中にあっただよ様な、ステップが自動で出るようなバス車両を見て、いいと思った。せっかくの機会だし、ぜひそのような車両を導入して頂きたい。

※ 説明会で出していただいた意見の他、説明会終了後に提出していただきました意見提出用紙で、以下のようなご意見をいただきました。（意見欄は自由記載）

- ・BRT導入のデメリットは乗りかえだけ？
- ・交通渋滞の懸念は？マイカー利用中心の方々が、全てバス利用へ転換するのは難しい→路線再編した場合の、一般交通への影響やその他に考えられるデメリットをあげたうえで、解消するための方策が示されないと、良い施策なのかどうか判断するのは難しい。
- ・ゾーンバスシステムでバスを集約した場合、これまでゆったりと座って乗車できた人が、立ち乗りを強いられる。増々バス離れにつながるのでは？
- ・バスを発車する際、乗客の着席を見定めてほしい。
- ・バス停の雨風の予防は、今後整備して行ってほしい。
- ・運転手さんは、よくなっています。
- ・まちなか再生が課題になっているが、それに対する新潟市としての方向性が明確でない（西堀ローサもその一つ）。新交通システムを導入して、新潟市、新潟交通共に採算取れて運営出来るのか。新潟市の本気度が問われていると思う。